

## 恵那山 広河原ルート

2013年2月17日(日) 曇り後晴れ

L：磯部S、川村、ざ・料理人

距離は長くはないが、厳冬期日帰りとしては手ごわい恵那山。  
頂上までは厳しいかもしれないが、浜松から近くで雪まみれになりたい！の思いで前夜出発。  
この時期は道の凍結が怖い。新野峠を越えR151からR153に向かうR418は要注意だ。  
深夜にスキー場の駐車場をお借りしてテントを張る。

早朝、迷惑になる前に撤収。登山口へ向かう林道を走る。人家を過ぎると除雪は無く、いきなり20cmほどの積雪。  
予定駐車場は2kmほど先だが、あきらめて道脇に止める。3, 4台しかキャバは無い非常用ポイントだ。



雪深い林道、足をとられて疲れた・・



ここから左下の沢に下りる

登山口までは右の急斜面の雪に気をかけながら林道を歩く。  
トレースはあったが50cm前後の雪に足をとられながら1時間半もかかってしまった。  
立派な登山届けポストのある登山口から沢に降り、木橋を渡って急斜面を直登する。  
前にスノーシューをつけた二人組がいて快適そうだった。このコースには有効だろう。



始めはアイゼンでがしがし登る



途中からわかんに。スノーシューが欲しかった。

延々と樹林帯の中を登るのだが、思いのほか高度を稼げない。踏み抜きが増えたため途中でわかんをつけた。  
ずっと展望はきかなかったのだが、やっと東方が開け伊那谷の向こうに南アルプスが端から端まで見えた時には感動し、これで今日は良しと区切りをつけた。  
その時点ですでに昼を廻っていたのだ。まだ半分くらいしか登っていないのに・・・。



とがった塩見がかっこいい！



景色に見とれる二人です

充分展望を楽しんで下山。シリセードを多用したため早かった。  
対岸の林道が見えてきていよいよもう終わりだなあ、という時に問題は発生した。  
沢まで残り40mぐらいの急下降で、ざ・料理人さんが滑落したのだ。  
幸い新雪が20cmほどあったため、ゆっくりと滑って行って、木に当たって止まった。  
大事に至らなくて良かったが、特に危険箇所というわけではなく、ラストということでどこか気の緩みがあったかもしれない。リーダーとして要反省である。

このコースは、恵那山に登る冬季最短コースなのだが、本気で日帰り狙うのなら中年隊の起床時間は3時前である。  
次は覚悟してトライしたい。

<タイム>

林道脇駐車ポイント(7:50) – 登山口(9:20) – 1760m辺り(13:10) – 登山口(14:50) – 林道脇駐車ポイント(16:00)

(磯部 記)